第５回ＮＩＮＪＡＬフォーラム

日本語新発見　―世界から見た日本語―

日　時　　平成２４年3月２４日（土）　１３：００～１７：３０
会　場　　一橋記念講堂（学術総合センター）
主　催　　人間文化研究機構　国立国語研究所

プログラム

13:00－　開会挨拶　　影山　太郎（国立国語研究所長）

13:05－　基調講演
「世界の言語から見た日本語・日本語から見た世界の言語」
角田　太作（国立国語研究所 教授・言語対照研究系長）

（13:55－14:05　休憩）

14:05－　講演１「近くて遠い、遠くて近い、フィリピンのことば
タガログ語と日本語」
片桐　真澄（岡山大学 准教授）

講演２「日本語と韓国語、どこが似ている、どこが違う」
金　廷珉（大韓民国・慶一大学 助教授）

（15:00－15:15　休憩）

15:15－　講演３「アイヌ語は日本語に似たようなものか？」
ブガエワ・アンナ（早稲田大学 准教授）

講演４「日本語に特有と言われる現象はアフリカにもある：
シダーマ語（エチオピア）の場合」
河内　一博（防衛大学校 准教授）

（16:05－16:25　休憩）

16:25－　パネル・ディスカッション
司　会　：　ホイットマン・ジョン（国立国語研究所 教授）

17:25－　閉会挨拶　　木部　暢子（国立国語研究所 副所長）

講師紹介

角田　太作（つのだ　たさく）

国立国語研究所教授（言語対照研究系長）。専門は豪州原住民言語学、言語類型論、言語消滅危機と言語再活性化。モナシュ大学博士。東京大学大学院教授を経て現職。著書に『世界の言語と日本語　改訂版―言語類型論から見た日本語』（くろしお出版、2009 年）、『*A Grammar of Warrongo*』（De Gruyter Mouton、2011 年）など。

片桐　真澄（かたぎり　ますみ）

岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授。専門はフィリピン諸語を中心とした、台湾原住民諸語、インドネシア諸語などオーストロネシア諸言語の統語・形態、語用。著書に『主題の対照』（共著。くろしお出版、2004 年）、『*The Many Faces of Austronesian Voice Systems* 』（共著。Pacific Linguistics、2005 年）など。

金　廷珉（キム　ジョンミン）

慶一大学（大韓民国）助教授。専門は、韓国語と日本語の対照研究。著書に『言語・脳・認知の科学と外国語習得』（共著。ひつじ書房、2009 年）など。

ブガエワ　アンナ（BUGAEVA , Anna）

早稲田大学高等研究所准教授。専門は、アイヌ語コーパス、言語類型論、アイヌ語動詞範疇。主な業績に『音声付きアイヌ語辞典――新編　金澤版アイヌ語会話辞典』（ロンドン大学アジアアフリカ学部 HP、2010 年）など。

河内　一博（かわち　かずひろ）

防衛大学校総合教育学郡准教授。専門は、意味論、統語論、形態論、シダーマ語、クプサビニィ語。著書に『アフリカ諸語文法要覧』（共著。渓水社、2012 年）など。

ホイットマン　ジョン（WHITMAN, John）

国立国語研究所教授（言語対照研究系）。専門は比較統語論、言語類型論、比較歴史言語学、東洋言語学、日本語学。ハーバード大学博士。ハーバード大学助教授、コーネル大学言語学科長を経て現職。著書に『*Proto-Japanese*』（共著。John Benjamins、2008 年）、『格と語順と統語構造』（共著。研究者出版、1998 年）など。

世界の言語から見た日本語・日本語から見た世界の言語

角田　太作

１．私の研究分野

（あ）オーストラリア原住民語学

主に、東北部のワロゴ語と西北部のジャル語とワンジラ語。

ワロゴ語は最後の話者が 1981 年に亡くなって、消滅した。2000 年頃、言語復活運動が始まった。私は 2002 年から現地に行って、ワロゴ語を教えている。

ジャル語は、話者は多分数十人くらい。ワンジラ語の話者は多分２、３人。ともに消滅の危機に瀕している。

（い）言語類型論

世界の諸言語を比較して、どのような点で、共通しているか、違うかを調べる。

（う）言語消滅危機と言語再活性化

言語消滅の過程と言語再活性化の方法を研究する。

２．今日の話の内容

主に、（あ）と（い）の観点から、日本語を中心に話す。（う）にも触れる。

３．日本語教育とマオリ語・ハワイ語の言語再活性化運動

2001 年にニュージーランドのマオリ語の再活性化運動の様子を見に行った。

ニュージーランドでは、英語が広まって、マオリ語は消滅の危機に瀕している。1970 年代にマオリ語の再活性化運動が始まった。今、活発に行っている。その方法の一つは、マオリ語だけを話し、英語は話さない方法である。Language immersion「言語浸し」あるいは「言語漬け」である。

マオリ人の言語活動家 Rangi Nicholson 師（教会の牧師さん）の話によると、「言語浸し」の方法の起源はなんと、日本語教育だそうだ。Berlitz という言語教育の会社がアメリカで日本語を教える時にこの方法を始めたそうだ。

ハワイにおける、ハワイ語の再活性化運動も、マオリ語の運動にならって、「言語浸し」の方法を採用した。

すなわち、日本語教育の方法が少数民族の言語再活性化運動に貢献している。

４．外国語から見た日本語

外国語をみることで、日本語の理解が深まることがある。例を挙げる。

４．１．所有物の分類（その１）

身体部分などは、以下の二つに分類できる。

（あ）普通所有物：普通、だれでも持っているもの。頭、目、腕、腹、体毛、足など。

（い）非普通所有物：そうではないもの。ひげ、白髪、にきび、たんこぶ、など。

この二つの区別は、1970 年代の始めに、メルボルンのモナシュ大学の修士課程の学生だった時、ワロゴ語を研究していて、気がついた。実は、この区別は日本語、英語など、他の言語にも反映している。

４．２．ワロゴ語

英語に疑似過去分詞と呼ぶものがある。中学校の英語の授業で習った。接尾辞 -ed を名詞に付けて、「～を持っている、～を持った、～がある」という意味を表す。

(1) a bearded man　「ひげのある男、ひげの男」

(2) a pimpled boy　「にきびのある少年、にきびの少年」

ワロゴ語にも「～を持っている、～を持った、～がある」という意味を表す接尾辞がある。英語の疑似過去分詞に似ている。子音に付く時には -ji、母音に付く時は、-yi である。非普通所有物に付く場合と、普通所有物に付く場合で、意味が違う。

（あ）非普通所有物の例

(3) jalbar-ji　ひげ-持った
「ひげをもった、ひげのある」

(4) birngga-yi　白髪-持った
「白髪を持った」（老人を指す。）

(5) goymbirra-yi　胸の傷-持った
「胸の傷を持った 」（成人式を経た男子を指す。）
（成人式で男子の胸に傷をつける習慣があった。）

（い）普通所有物の例

(6) bolo-yi　腹-持った　直訳：「腹を持った、腹ある」
意味：「満腹だ、下痢をしている、など」

(7) jina-yi　足-持った　直訳：「足を持った、足がある」
意味：「足が痛い、足が疲れた、など」

(8) jinggo-yi　体毛-持った　直訳：「体毛を持った、体毛がある」
意味：「毛深い」。即ち、「普通の人より、毛が濃い。」

普通所有物の場合、普通、だれでも持っているのだから、わざわざ、「持っている」という必要も無い。強いて、「持っている」と言うと、「普通の状態ではない」または「普通以上だ」という意味になる。

非普通所有物の場合は、文字通りの意味である。持っている人もいるし、持っていない人もある。従って、「持っている」というだけの意義があるのだろう。

４．３．日本語

「〜がある」という表現を見る。非普通所有物の場合と、普通所有物の場合で、意味が違う。

（あ）非普通所有物の場合

(9)（童謡）かあさん、白髪がありますね。タントン、タントン、タントン。。。

(10) 太郎さんはニキビがあります。

(11)（童話：こぶとりじいさん）あのおじいさんはこぶがあります。

（い）普通所有物の場合

(12)（野球の実況放送。かっての阪急ブレーブズ。）福本選手は足があります。

(13) 花子さんは頭があります。

(14) 花子さんは目があります。

(15) あの大工さんは腕があります。

普通所有物の場合、「普通以上だ」という意味になる。非普通所有物の場合は、文字通りの意味である。

４．４．英語

疑似過去分詞。非普通所有物に使える。

(16) a bearded man　「ひげのある男、ひげの男」

(17) a pimpled boy　「にきびのある少年、にきびの少年」

文字通りの意味である。普通所有物には使えない。（星印(*)は「使えない」を示す。）

(18) *an eyed girl　直訳「目のある少女、目の少女」

接尾辞 -y がある。「〜を持っている、〜を持った」という意味を表すことができる。普通所有物に使える。非普通所有物には使えない。普通所有物の例を挙げる。

(19) brainy　「（普通より）頭の良い」

(20) hairy　「（普通より）毛深い」

(21) leggy　「（普通よりも）脚がきれいな」

「普通の状態ではない」または「普通以上だ」という意味になる。

このように、普通所有物と非普通所有物の区別を考えると、英語の接尾辞 -ed と -y 「〜を持っている、〜を持った」の使い分けを理解するのに、便利である。

ここまでは、外国語を見ることで、日本語の理解が深まる例を見た。

５．日本語から見た外国語

日本語を見ることで、外国語の理解が深まることがある。例を挙げる。

５．１．所有物の分類（その２）

日本語のある種の敬語を見ていて、所有物にランキングがあることに気がついた。これを所有傾斜と呼んだ。以下の通りである。

(22) 所有傾斜

身体部分（または身体）　＞　属性　＞　衣類　＞　親族　＞
愛玩動物　＞　作品＞　その他の所有物

このランキングは日本語のある種の敬語の用法に反映している。更に、英語、ワロゴ語にも反映している。

５．１．１．日本語の敬語

日本語のある種の敬語は、このランキングで高い方では言いやすい。特に、「身体部分（または身体）」の場合、言いやすい。「属性」でもかなり言いやすい。例を挙げる。以下の例文は、ある架空の会社の社長について述べた文である。

身体部分（または身体）の例

(23) 社長のお体は元気でいらっしゃる。

属性の例

(24)（社長が病気になった。しかし：）社長のご容態は落ち着いていらっしゃる。
(25) 社長のご体温はもとの状態に戻られました。

(23)、(24)、(25)のような文は、新聞、テレビなどの報道でもしばしば見かける。また、アンケート調査をしてみたら、このような文は自然である、おかしくないと言う人が多かった。

一方、このような敬語は、このランキングで低い方に行くに従って、言いにくくなる。「その他の所有物」の場合、最も言いにくい。新聞、テレビなどの報道では見かけない。例文を作ろうとしても、自然な例文を作るのは困難である。アンケート調査をしてみたら、このような敬語は不自然である、おかしいと言う人が多かった。不自然である、おかしいということを示すために、例文に疑問符を付ける。「その他の所有物」の例文を挙げる。

(26) ？社長の別荘は立派でいらっしゃいます。
(27) ？社長のお鞄は高級品でおられます。
(28) ？社長のコンピューターはマックでいらっしゃいます。

５．１．２．ワロゴ語

４．２で見たように、ワロゴ語に、「～を持っている、～を持った、～のある」という意味を表す接尾辞がある。（英語の疑似過去分詞に似ている。）子音に付く時には -ji、母音に付く時は、-yi である。ランキングで高い方から、「身体部分」、「属性」、「衣類」、「親族」まで使える。「愛玩動物」から下は使いにくい。

身体部分の例	(29) jalbar-ji	ひげ-持った	「ひげをもった、ひげのある」
	(30) bolo-yi	腹-持った	直訳：「腹を持った」 意味：「満腹だ、下痢をしている、など」
属性の例	(31) morran-ji	病気-持った	直訳：「病気を持った」 意訳：「病気の」
衣類の例	(32) gambi-yi	衣類-持った	直訳：「衣類を持った」 意訳：「衣類を着た」
親族の例	(33) jolbon-ji	配偶者-持った	直訳：「配偶者を持った」 意訳：「結婚している」

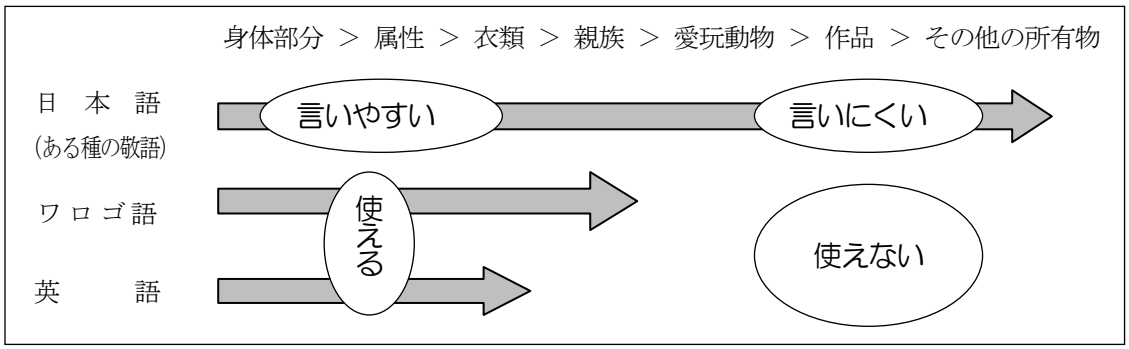
５．１．３．英語

４．４で見たように、英語に疑似過去分詞というものがある。接尾辞 -ed を使う。「～を持っている、～を持った、～のある」という意味を表す。ランキングで高い方から、「身体部分」、「属性」、「衣類」まで使える。しかし、「親族」以下では使えない。使えないということを星印(*)で示す。（ワロゴ語では「親族」でも使える。）

身体部分の例　(34) a bearded man　「ひげのある男、ひげの男」
　(35) a pimpled boy　「にきびのある少年、にきびの少年」
属性の例　(36) a talented girl　「才能のある少女」
　(37) a good-natured man　「良い性格の男」
衣類の例　(38) a white-hatted cabman　「白い帽子のタクシー運転手」
　(39) a uniformed commissionaire　「制服の使い走り人」
親族：使えない。　(40) * a wifed man　意図した意味：「妻のいる男」

５．１．４．所有傾斜のまとめ

日本語のある種の敬語、ワロゴ語の接尾辞 -ji/-yi「～を持った」、英語の接尾辞-ed「～を持った」が、どのような場合に使えるか、使いやすいか、どのような場合に使えないか、使いにくいかを、以下の図で示す。



日本語、ワロゴ語、英語はかなり違う言語である。しかし、このように、共通の原理が働いている場合がある。

５．２．人魚構文

日本語には以下のような文がある。

(41)　（このフォーラムのポスターに書いてある例文。）
　太郎は明日大阪に行く予定です。
(42) 首相は米の輸入を認める見込みだ。
(43) 日本人は正月を祝う習慣だ。

考えてみれば、これらの文は奇妙な文である。

理由１：意味の点で。

(41)について言うと、太郎は予定ではない。人間だ。(42)について言うと、首相は見込みではない。人間だ。(43)について言うと、日本人は習慣ではない。人間だ。

理由２：文の構造の点で。

文の前半は、動詞述語文と同じである。以下の文は動詞述語文である。

(41)’　太郎は明日大阪に行く。

(42)’　首相は米の輸入を認める。

(43)’　日本人は正月を祝う。

一方、文の後半は、名詞述語文に似ている。名詞述語文とは、以下のような文である。

(44) 花子は学生だ。

(45) 所長は阪神ファンだ。

文末は「名詞＋だ」または「名詞＋です」などである。

(41)から(43)のような文は人魚に似ている。いわば、上半身は動詞述語文であり、下半身は名詞述語文である。そのため、人魚構文と名付けた。

日本語の研究では、人魚構文は一風変わった文であるという認識は無かったようだ。他の言語の研究でもそうであった。しかし、人魚構文という観点で見ると、同様な文が他の言語にも見つかった。

アジアの言語に 10 以上見つかった。まず、日本語の近くでは、アイヌ語（ブガエワ先生）、韓国語・朝鮮語（金先生）である。ところが、アフリカにも見つかった。エチオピアのシダマー語（河内先生）。

これらの言語は、日本語を含めて、全て、述語が文の最後に来る言語である。日本語の例を挙げる。

(46) 花子が　本を　<u>買った</u>。
述部

ところが、なんと、述語が文の始めに来る言語にも見つかった。フィリピンのタガログ語（片桐先生）。タガログ語では、(46)の文を(47)のように言う。

(47) <u>買った</u>　花子が　本を。
述部

６．まとめ

アメリカにおける日本語教育の方法が、ニュージーランドとハワイの少数民族の言語復活運動に役立っている。

外国語から見ることで、日本語の理解が深まることがある。例として、所有の表現を挙げた。

逆に、日本語から見ることで、外国語の理解が深まることもある。例として、所有の表現と人魚構文を挙げた。

近くて遠い、遠くて近い、フィリピンのことば—タガログ語と日本語

片桐　真澄

１．フィリピンの言語

フィリピンは日本の南西に位置し、面積は日本の約８割、人口は 9401 万人(2010 年国勢調査)であるが、実に 120 もの言語が存在する。公用語はフィリピノ語と英語で、国語であるフィリピノ語は、首都マニラを中心とした地域の言語であるタガログ語を母体として、他言語の語彙を取り入れたものであり、言語実態はタガログ語と相違ない。タガログ語をはじめとするフィリピン諸語は、系統的にはオーストロネシア語族に属する。

２．近くて遠いタガログ語と日本語

日本とフィリピンは地理的には近いが、日本語とフィリピン諸語は全く異なるタイプの言語であるように見える。ここでは、タガログ語を例にとって考えてみよう。

まず、語順は、日本語はＳＯＶ（主語-目的語-動詞）の述語末尾言語であるが、タガログ語はＶＯＳ（あるいはＶＳＯ）の述語初頭言語である。また、タガログ語には、世界の言語の中でもユニークな文交替のシステムがある。例えば、日本語で次のような文の言いかえを考えてみよう。

(1)　男は妻のために指輪を買った。
(2)　妻は男に指輪を買ってもらった。
(3)　??指輪は男に（よって）妻のために買われた。

上の文で、この出来事の参与者である名詞は「男」「妻」「指輪」の３つであるが、「男」や「妻」を主語にした文は言えるが、「指輪」を主語にした文はかなり不自然である。

一方、タガログ語では、参与者の意味役割が何であろうと、それを「主語」（後述）とした文が可能である。上の例では、動詞「買う」に対して、「男」は行為者、「妻」は受益者、「指輪」は対象という意味役割を持っているが、この他にも道具（「退職金で」の「退職金」）、場所（「その店で」の「店」）、理由（「罪滅ぼしのために」の「罪滅ぼし」）など、基本的にどんな意味役割の名詞でも主語にできるのである。これは、英語など他の言語に見られる態の交替とは根本的に異なるものである。

さらに、タガログ語では、文の「主語」の意味役割に応じて動詞の形が変わる。例えば、主語が行為者であれば、動詞には「行為者焦点接辞」が付き、主語が受益者であれば「受益者焦点接辞」が付くと言った具合である。例えば、上の(1)-(3)に対応するタガログ語は、それぞれ(4)-(6)のようになる。動詞の語根は *bili*「買う」である。太字の部分がそれぞれの文の「主語」である。

(4)	B-um-ili	**ang**	**lalaki**	nang	singsing	para sa	asawa	niya.
	行為者焦点(完了)-買う	主題	男	属格	指輪	ために	妻	彼の
(5)	I-b-in-ili	nang	lalaki	nang	singsing	**ang**	**asawa**	**niya**.
	受益者焦点(完了)-買う	属格	男	属格	指輪	主題	妻	彼
(6)	B-in-ili	nang	lalaki	**ang**	**singsing**	para sa	asawa	niya.
	対象焦点(完了)-買う	属格	男	主題	指輪	ために	妻	彼の

このように、タガログ語には複雑な文交替の仕組みがあり、日本語とは全く異なるタイプの言語であるように見える。また、日本語では、行為者を主語にした(1)のような文が最も普通の「行為者優位言語」であるのに対し、タガログ語では、対象を「主語」とした(6)のような文が最も普

通の「対象優位言語」であるという点でも異なる。

３．遠くて近いタガログ語と日本語

しかしながら、タガログ語には日本語と類似している点もある。それは、一つには日本語と同じように「主題優勢言語」であるという点である。英語をはじめとするヨーロッパの言語の多くが主語という文法関係を中心とする「主語優勢言語」であるのに対し、日本語は主語とは別の概念としての主題を持ち、それを「は」という助詞によって表す。タガログ語でも、上で「主語」と呼んできた要素は実は主題であり、タガログ語の場合、それは *ang* という標識によって表される。ただし、タガログ語の主題は、日本語の主題に比べ文法的な性格が強く、文中の必須の要素であり、多くの統語現象に関わる。そこで、純粋に語用論的な主題を表す方法としてさらに、倒置によって文頭に移すという手段もある。

また、日本語に特徴的と考えられていた、いわゆる「人魚構文」（Tsunoda, forthcoming）がタガログ語にも存在する。人魚構文とは、「[太郎は大阪へ行く]予定だ」のように、「動詞述語節＋名詞（＋コピュラ）」のような形をとる文のことで、半分が動詞的で半分が名詞的な形であることから人魚構文と名づけられた。人魚構文は日本語以外の動詞末尾言語にも確認されているが、述語初頭言語であるタガログ語にも存在する。タガログ語は述語初頭言語であり、しかも日本語の「だ」にあたるようなコピュラがないので、形は「名詞＋動詞述語節」という形になる。（名詞と節とは、連結辞で結ばれる。）

タガログ語の人魚構文には２つのタイプがあり、１つはサンスクリット語からの借用語である「顔」を意味する名詞 *mukha* を用い、後に定の節が続くタイプで、「*mukha*+連結辞+定節」の形となり、「～のようだ」という意味を表す。

(7)	Mukha-ng	sa-sabog	na	ang	bulkan.
	顔-連結辞	行為者焦点（未然）-噴火する	もう	主題	火山

「火山がもうすぐ噴火しそうだ。」（直訳：「火山がもう噴火する顔だ。」）

もうひとつのタイプとしては、*tradisyon*「習慣」、*plano/balak*「計画」、*destino/kapalaran*「運命」のような名詞を用い、後に不定の節が続くタイプで、「名詞＋連結辞＋不定節」の形となり、「～する習慣･計画・運命だ」という意味を表す。

(8)	Tradisyon-g	ipag-diwang	nang	manga	Filipino	ang	Easter.
	習慣-連結辞	対象焦点（不定）-祝う	属格	複数	フィリピン人	主題	イースター

「フィリピン人はイースターを祝う習慣だ。」

このように、人魚構文は日本語のような述語末尾言語だけでなくタガログ語のような述語初頭言語にも存在する。一方、英語のようなＳＶＯ型など述語が真ん中に来るタイプの言語には確認されていないことから、人魚構文は述語が端に来る言語に起こることが予測される。

このように、ある言語に特徴的と思われる現象も、一見全く異なるタイプの言語に存在することがあり、その現象や言語の本質を知る上で、その言語や系統の近い言語のみを見ていてはわからないことがある。今後の日本語研究も、世界のさまざまな言語との対照研究を軸に行っていく必要があるだろう。

引用文献

Tsunoda, Tasaku (forthcoming). Mermaid Construction: an introduction. In Tasaku Tsunoda (ed.) *Mermaid Constructions*. Amsterdam/New York: John Benjamins.

韓国語と日本語、どこが似ている、どこが違う

金　廷 珉

１．日本語と韓国語の一般的な類似点と相違点

1)　韓国語の簡単な紹介：ハングルの起源、文字の作り（子音、母音）、発音体系
　両言語は膠着型言語に属し、 SOVの語順を持つ。語彙、文法など表面的には酷似しているが、微妙な相違点も存在する。

2)　両言語の類似点
－語彙：漢字語、固有語(日本語の場合：和語)、外来語
－文法：格助詞（「が」「を」「に」「で」など）を有する
　　受身、使役形、過去形がある
　　話し手の主観を表す文末表現（「ものだ」「ことだ」「것이다」「법이다」など）が豊富
　　敬語（尊敬語と謙譲語など）が発達している

3)　両言語の相違点：
－表現構造：日本語は名詞志向、韓国語は動詞志向（金恩愛　2003）。しかし、反例もある。

（例1）a. いい天気！　vs　*좋은 날씨 ！
　　b. いい気持ち　vs　*좋은 기분!　(生越　2005：55)
　　c. 좋은 아침
　　「いい朝」　英語のGood morningの韓国語訳

－敬語：韓国語は絶対敬語。敬語を使う動機はいろいろがあるが、相手の年齢が最も重要な要素。最近、必ずしも年齢に関係なく、敬語を過剰使用する傾向もある（한미경2007）

（例2）a. 田中（部長）は今席をはずしております。
　　b. 김사장님은 지금 자리에 안 계십니다.
　　（直訳）「金社長様は今席にいらっしゃいません。」

－ 日本語は謙譲表現の発達、定型化した表現や前置き表現が豊富
（お＋動詞の連用形（漢語名詞）＋します（いたします)、～させていただきます。
　失礼ですが、もしよろしければ、など）

（例3）a. お待たせいたしました。
　　b. 오래 기다려 주셔서 감사합니다.
　　（直訳）「長く待ってくださいましてありがとうございます。」

－韓国語は先語末語尾（尊敬の「-(으)시」、自分が直接体験（目撃）したことを表す「-더」）や終結語尾の数が豊富（「-지」「-네」「-군」「-구나」 など）。日本語は聞き手との共感度を意識した終助詞の機能が発達（「よ」「ね」）

２．人魚構文に関する日韓対照分析

1) 人魚構文 （体言締め文）の定義：[節]＋[体言]＋[コピュラ]の構造を持つ文（角田1996）

（例4）a. ［太郎は明日東京に行く］＋［予定］＋［です］。
b. [타로는 내일 도쿄에 갈]+[예정]+[입니다].

2) 角田(1996)を出発点に日本語を基準に韓国語を照らす。

・韓国語にも人魚構文に相当する文が存在するのか？ → 存在する。大きく３つのタイプに分類できる。

・［体言］の位置に現れる名詞の種類と意味は？ → 非常に多い。以下の３つに分類できる。
［普通（一般）名詞］［形式名詞１タイプ］［形式名詞２タイプ］
［普通（一般）名詞］：日本語に比べて若干使えない名詞が見られる。(例：慣わし、風習、疑いなど)
［形式名詞］：日本語に比べて韓国語の方が名詞の数は多いが、具現化する意味はアスペクト、モーダルな意味を表す点では共通。

・［コピュラ］は活用するのか？→活用する。過去形、否定形など。
韓国語：形式名詞「것」を除いて、コピユラの有無によって文全体的な意味的相違は見られない。
日本語：コピユラがない場合、より聞き手目当ての意味を表す(堀江・プラシャント 2009)

・［節］内の形態的特徴は？
韓国語：連体形と終止形の区別が明確。連体形の体系が複雑。後続する名詞と連体形の種類との共起関係に制約があり、文全体の意味が変わる場合もある。
日本語：連体形と終止形が同形（ナ形容詞とコピユラを除いて）

・他構文とは違う独自のものとして分類できるのか？→ 統語的特徴（６つのテスト）について名詞文、連体修飾節などの他構文と比較を行う。その結果、現段階では断言はできないが、韓国語の「人魚構文」は「連体形修飾節」とは異なる。

３．大衆媒体（インターネットなど）に見られる韓国語の表現

－ 語彙の省略、縮約形の使用の増加： 韓国語２モーラ、日本語４モーラの傾向

（例5）a. 디카 VS デジカメ **Di**gital **Ca**mera
b. **미**안하다 **사**랑한다 → 미사
c. キムラ タクヤ → キムタク

－ 名詞化止めの表現：名詞化辞 「–(으)ㅁ」「–기」 で文を終える（インターネットのバナー広告など）

（例6）로그인하**기** 「ログインする。」
（例7）오늘 하루 이 창을 열지 않**음** 「今日一日このウィンドウを開かない。」

－ 尊敬を表す接辞 –(으)시 ＋名詞形接辞–ㅁで 文を終える

本来 尊敬の接辞「–(으)시 」は自分より年長者や尊敬すべき対象について述べる際に使用するが、自分の子供の行動、自分自身のことについて述べる際にも尊敬–(으)시 を使い、名詞形で文を終える現象

（例8）（自分の写真をblog に載せて） 완전 웃기**심** 「まったくおかしい」

－ 連体形止めの表現：-**는**, -**다는**（テレビ番組の字幕、blogなど）

文中で名詞を修飾する機能から文末の終止形としての機能獲得。
話し手の様々な主観的な態度（驚き、意外性など）を表す。
後続名詞の省略、出演者の発話内容の要約、表情描写など、臨場感を与える。

（例9） 양이 많아서 둘이 먹다 남겼**다는**…
（直訳）「両が多くて二人で食べてて(食べ物を)残したという。」（意外性、驚きなど）

（例10）너무 힘들었던 현실에 원망할 누군가가 필요했**던**…!
（直訳）「あまりにも辛かった現実で恨む誰かが必要だった…!」（心情描写）

アイヌ語は日本語に似たようなものか？

アンナ・ブガエワ

私のアイヌ語研究は日本への興味から始まった。そして、サンクト・ペテルブルグ大学の東洋学部日本語学科に進学し、日本語の研究をしている中、アイヌ語と出合ったのである。 アイヌ民族は日本とロシアにまたがる北方先住民族で、以前は北海道だけでなく、本州北東部やロシアのサハリン南部などにも居住しており、私にとって比較的身近な存在だった。

アイヌ語と日本語は同じ日本列島のことばでありながら、まったく違う言語である。アイヌ語は日本語の方言でもないし、言語学者が分かる限り、起源も日本語と違う。構造的にも、アイヌ語と日本語は深いレベルで異なっている言語である。たとえば、アイヌ語の場合には、私の母語のロシア語と同じように、主語の人称（１人称、２人称など）により動詞の形が変わる。日本語の場合には、主格の「ガ」、対格の「ヲ」の格助詞があるが、アイヌ語にはこれらはない(1)。又、日本語には、時制を表す助動詞はあるが、アイヌ語には同じような時制標識はなく（例文(4)-(8)における **エク**「来る」とその日本語訳参照）、文脈だけで分かることになっている（たとえば、例文(8)のように **ニサッタ** 「明日」という副詞を使えば、未来の解釈になる）。逆にアイヌ語にあって日本語にない動詞の変化がたくさんある。たとえば、日本語で「お酒で祈とうの儀式をする」という場合には「道具格」助詞「で」を使うが、アイヌ語には日本語の「で」に相当する助詞 **アニ** があっても、それを使わず、「で」の概念を動詞の接頭辞**エ−**で表現することが多い(2)。また、日本語で「私は魚を釣った」のような内容を五つの単語で言わなければならないのに対し、アイヌ語でいわゆる名詞抱合形を使って、同じ内容を一つの単語（動詞）で言える：

クチェプコイキ、文字通りでいえば「私魚釣った」(3)；例文(1)参照。

(1)	(*Káni*)	***cep***	*ku=koyki.*
	カニ	チェ**プ°**	ク=コイキ
	私	魚	私(が)=とる
	「私が魚をとった。」		

(2)	*Ne*	*sake*	*a=**e**-kamuy-nomi.*
	ネ	サケ	ア=**エ**-カムイ-ノミ
	この/その	酒	主人公の私(が)=**で**-神-祭る
	「私はその酒**で**神祈とうの儀式をした。」		（田村　1996: 86）

(3) *Ku=**cep**-koyki.*
ク=チェ**プ** -コイキ
私(が)=魚-とる
「私が魚をとった。」（田村　1996: 46）

しかし、このように大きな相違にもかかわらず、日本人のアイヌ語の学習者の多くは、２つの言語が構造的に似ている面もたくさんあるというし、実際に、ヨーロッパの諸言語の話者よりも、習得が早いことが多い。理由の一つは、両言語の語順が同じであるということだが、今日お話ししたいアイヌ語と日本語の類似点は、角田先生を始めほかの発表者が紹介した人形構文（体言締め文）である。　アイヌ語にも、日本語と同様、人魚構文があるのである。

アイヌ語の人魚構文は日本語ほど種類が多くなく、人魚構文の「締め」のところに現れる名詞は１０種類である。角田先生の研究によると、日本語では１０６種類の名詞が人魚構文に現れるという種類の数が少ないにも関わらず、その使用の頻度は日本語に劣らず高い。アイヌ語の人形構文では、名詞は日本語と違って、必ず所属形「何々～の跡」(4)を取る。この構文により、証拠性(4)－(7)、モダリティ(8)－(10)、アスペクト(11)等の(12)－(13)意味が表わされるのは日本語によく類似するところである。

(4) a. [*Mosir-pa-un-sar* *or* *wa* *topattumi* *ek*] ***ru-w-e*** ***ne.***
[モシリ -パ-ウン-サラ オロ ワ トパットゥミ エク] ル-ウ-エ ネ.
（神話的な地名） ところ から 夜襲 来る.単 **跡**-挿-所属 だ
直訳:「モシリ パウンサラ から夜襲が来た**跡**である。」 証拠性.推測（思考上の発言）
「モシリ パウンサラ から夜襲が来た**のだ**。」（中川 2002: 130）

b. [*Tane* *e=poro*] ***ru-w-e*** ***ne.***
[タネ エ=ポロ] ル-ウ-エ ネ.
もう 貴方（が）=大きい/大きくなる **跡**-挿-所属 だ
直訳:「もうお前も大きくなった**跡**だ。」 証拠性.推測（思考上の発言）
「もうお前も（十分）大人になった**のだ**」 (K7708242UP.223)

(5) [*A=kor* *nispa* *ek*] ***haw-e*** ***ne.***
[ア=コロ ニシ パ エク] ハウ-エ ネ.
主人公の私（が）=持つ 長者 来る.単 **声**-所属 だ
直訳:「わが長者殿が来た**声**だ。」 証拠性.報告（伝聞上の発言）
「わが長者殿が来（てくれ）た**そう**だ。」(K8010281.UP.059)

(6) [*Húci* *ek* *kor* *an*] ***sir-i*** ***ne.***
[フチ エク コロ アン] シリ -イ ネ.
おばあさん 来る.単 つつ 存在する.単 **様子**-所属 だ
直訳:「おばあさんが今来ている**様子**だ。」 証拠性.視覚（視覚上の発言）
「おばあさんが今来ている**ところ**だ。」（田村 1988:77）

(7) [*Poyseta* *en=sam* *ta* *ek*] ***hum-i*** *ne…*
[ポイセタ エン=サム タ エク] フム -イ ネ…
子犬 私（を）=側 に 来る.単 **音**-所属 だ
直訳:「子犬が私のそばに来た**音**だ。」 証拠性.非視覚的（感覚上の発言）
「子犬が私のそばに来たような**気がした**（ように私は思って、）」（佐藤 2011: 14）

(8) [*Nisat-ta* *suy* *k=ek*] ***kus-u*** *ne* *na.*
[ニサッ-タ スイ ケク] クシ -ウ ネ ナ.
明日-に また 私（が）=来る **理由/意図**-所属 だ よ
「わたしは明日また来る**つもり**ですよ。」（KS #3178）

(9) [*Eci=ki* ***kun-i-p***] *ne* *na.*
[エチ=キ クン-イ-プ] ネ ナ.
貴方（が）=する べき-こと-人/もの だ よ
「あなた達すべし。」（金田一 1993 [1931]: 341）

(10) [*Isepo* *ka* *cironnup* *ka… tap* *neno* *a=hopunpa-re*] ***p*** *ne* *na.*
［イセポ カ チロンヌプ カ タプ ネノ ア=ホプンパ−レ］ プ ネ ナ.
ウサギ も キツネ も これ ように 主人公の私(が)=飛ぶ.複-させる人もの だ よ
直訳：「. . . 送るものだよ。」「ウサギ（の霊魂）もキツネ（の霊魂）もこれ（これ）こういうふうに送るものなのだ。」（K7708242UP.064)

(11) [*Tane* *ipe=an* ***usi-ke***] *ne.*
[タネ イペ=アン ウシ-ケ] ネ
今 食事をする=主人公の私(が) ところ-所属 だ
「今食べているところです。」（KS #1849）

(12) [*Kamuy* *renkayne* *e=pa* *wa e=siknu-re*] ***hi*** *ne* *aan.*
［カムイ レンカイネ エ=パ ワ エ=シクヌ−レ］ ヒ ネ アアン.
神 お陰で 貴方（が）=見つける て 貴方（が）=生きる-させる こと だ ったのだな
「神の力でお前が（娘を）見つけて、生き返らせたということだったのだな」(K8106233UP.156)

(13) [*A=an-te-mac-ihi* *ikesuy*] ***kat-u*** *ne.*
［ア=アン−テ−マチ−ヒ イケスイ］ カッ−ウ ネ.
主人公の私(が)=存在する-させる-女-所属 家出する 有様/わけ-所属 だ
「私の妻が家出したのです。」(田村 1984: 40)

(14) [*E=unu-hu* *cis* *kor* *e=resu*] ***kat-u*** *ne* ***ru-w-e*** *ne* *na.*
[エ=ウヌ-フ チシ コロ エ=レス] カッ-ウ ネ ル-ウ-エ ネ ナ.
貴方（の）=母-所属 泣く つつ 貴方（を）=育てる 有様/わけ-所属 だ 跡-挿-所属 だ よ
「お前の母は泣きながらお前を育てていたというわけなのだ。」（中川 1995: 425）

先行研究では田村（1988）、奥田（1989）、佐藤（2008）などがこのような構文を連体修飾構文として分析しているが、いくつかの文法的根拠により、アイヌ語における人魚構文では、日本語と同様、文末の名詞とそれに続くコピュラ（日本語の「ダ」、「デアル」に当たるもの）が一単位になっていることが分かる。すなわちアイヌ語の人魚構文は、日本語と同じように、単文構造なのである。また、アイヌ語でも日本語と同様、人魚構文における「締め」の名詞が、節の主語の性質に関わらず用いられうること、そして特に、この名詞と節の主語が明らかに同一指示でないことなどによって、これらの「締め」の名詞の元の意味が薄れてきていることが分かる。

さらに注意に値する点としては、アイヌ語には意味の異なる「締め」の名詞を組み合わせて作られた人魚構文がある(14)。このような構文は、二重体言締め文とも呼べる非常に特殊なものである。

略号

()= 原文にはない追加情報、単 = 単数、 複 = 複数、所属=所属接尾辞、 挿 = 挿入子音。

参照文献

奥田統己 (2001 [1989])「日本語とアイヌ語における連体修飾と文の名詞化」『早稲田大学語学教育研究所紀要』39. (再録:『アイヌ語考 文法 II』第5巻, 243-256頁. 東京: ゆまに書房.)

K Nakagawa, Hiroshi & Anna Bugaeva (forthcoming) . *A web-accesible corpus of folktales of the Saru dialect of Ainu by Mrs. Kimi Kimura (1900-1988)* . ELDP, SOAS, University of London. http://lah.soas.ac.uk/projects/ainu/

金田一京助 (1993 [1931])「アイヌユーカラ語法摘要」『アイヌ叙事詩ユーカラの研究 2』3–233頁, 東京: 東洋文庫. (再版: 1993:「アイヌ語学講義 2」『金田一京助全集 アイヌ語I』第5巻, 145–366頁. 東京: 三省堂.

KS Bugaeva, Anna & Shiho Endō (eds.) (2010) Setsu Kurokawa (speaker) & David Nathan (multimedia developer) . 金澤版 アイヌ語会話辞典 ・ 音声 黒川セツさん [*A Talking dictionary of Ainu: A new version of Kanazawa's Ainu conversational dictionary with recordings of Mrs Setsu Kurokawa*]. ELDP, SOAS, University of London. http://lah.soas.ac.uk/projects/ainu/

佐藤知己 (2008)『アイヌ語文法の基礎』 東京: 大学書林.

佐藤知己 (2011)「アイヌ語千歳方言における推量の助動詞 nankor の意味について」『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』17, 1-18 頁. 札幌: 北海道立アイヌ民族文化ん研究センター.

田村すず子 (1984)『アイヌ語資料』1. 東京: 早稲田大学語学教育研究所.

田村すず子 (1988)「アイヌ語」亀井孝, 河野六郎, 千野栄一 編『言語学大辞典』東京: 三省堂.

田村すず子 (1996)『アイヌ語沙流方言辞典』 東京: 草風館.

Tsunoda, Tasaku (forthcoming) 'Mermaid construction in Japanese', in Tasaku Tsunoda (ed.) *Mermaid constructions cross-linguistically* (Typological Studies in Language), Amsterdam, Philadelphia: John Benjamins.

中川裕 (1995)『アイヌ語千歳方言辞典』 東京: 草風館.

中川裕 (2002)「アイヌ語口承文芸テキスト集 3」『ユーラシア言語文化論集』5, 111–143 頁. 千葉: 千葉大学.

日本語に特有と言われる現象はアフリカにもある：シダーマ語（エチオピア）の場合

河内　一博

1．はじめに

・アフリカの言語の研究と言語類型論
・日本語の特異性に関する以前の記述
・シダーマ語に関する背景的情報：アフロ・アジア大語族－クシ語族、他のアフリカの言語との違い

２．シダーマ語の文法構造の特徴（日本語の文法構造との比較）

（2.1.3 と 2.2 のどちらに分類すべきか難しい場合がある。）

2.1　日本語と違う点

2.1.1　シダーマ語にはあるが日本語には見られない現象

例：外的所有者構文、主語と目的語の人称接尾辞、所有人称接尾辞、中間接尾辞、超分節辞、名詞句を形成する接語、他の言語とは違った「名詞の修飾」という概念、など。

(1)　Ise　　ɗiwan-t-anno.
3 人称. 単数. 女性. 主格　　**病気になる**-主語: 3 人称. 単数. 女性-未完結相.3 人称
「彼女は（習慣的に）病気になる。」または**「彼女は（将来／これから）病気になるだろう。」**

2.1.2　日本語にはあるがシダーマ語には見られない現象

例：外の関係の関係節、主題マーカー、助数詞、丁寧さを表す動詞の語尾、など。

2.1.3　両言語にあるが違いが見られる現象

例：主語の省略、動作主を表さないようにする方法、ピッチ・アクセント、「なる」を表す動詞の多用、など。

2.2　日本語と似ている点（他の多くの言語にも見られるものと、他の言語にも見られるかどうかわかっていないものがある。）

例：SOV の語順、修飾語・句・節 – 名詞 の語順、接尾辞（使役の接尾辞など）、対格型の格の標示、敬称、空間移動や状態変化を表すのに使う複数の動詞の構文、イベントの実現の含意の不完全さ、場所と物体の区別、曖昧な表現、人魚構文、など。

３．シダーマ語の人魚構文

3.1　シダーマ語の３つのタイプの人魚構文：(i) *gara* 構文、(ii) =*gede* 構文、(iii) 与格–場所格構文

(i) *gara* 構文：

“節 *gara*-長母音化=述部マーカー”（*gara* は「方法、様子」を表す名詞）（← 人魚構文の典型例）

「... ようだ」：話し手が主語（常に３人称）の名詞句の指示対象の行動や状態・状態変化を観察することによって、あるいは他の人から聞いた情報に基づいて、節で表されている出来事が習慣的に起こることを推測している。

節の動詞は未完結相（習慣的な解釈）に限られている。

(2)　Ise　　ɗiwan-t-anno　　gara-a=ti.
3 人称. 単数. 女性. 主格　　**病気になる**-主語: 3 人称. 単数. 女性-未完結相.3 人称　　**様子**-長母音化=述部マーカー
「彼女は（習慣的に）病気になるようだ。」

(ii) =*gede* 構文：

“節=*gede*-長母音化=述部マーカー”（=*gede* は「ように」等を表す後接語で、名詞だったのが文法化されたようである。）

「… ようだ」：話し手が主語（常に３人称）の名詞句の指示対象の行動や状態・状態変化を観察することによって、あるいは他の人から聞いた情報に基づいて、節で表されている出来事がこれから起こる／すでに起こったことを推測している。

節の動詞は未完結相（習慣的な解釈）以外のすべてのアスペクトの形式を取ることができる。

(3) Ise　　diwan-t-anno=gede-e=ti.
3 人称. 単数. 女性. 主格　**病気になる**-主語: 3 人称. 単数. 女性-未完結相.3 人称=**ように**-長母音化=述部マーカー
「彼女は（将来／これから）病気になるようだ。」

(iii) 与格-場所格構文：

“動詞-主語人称数性-不定-ra-長母音化=述部マーカー”（*-ra* は与格-場所格の接尾辞）

（← 厳密には人魚構文ではないと分析されるかもしれない）

「（今にも）… しようとしている」：出来事がほとんど始まりつつあることを表す（近接相 proximative aspect）。

(4) Ise　　diwan-t-a-ra-a=ti.
3人称. 単数. 女性. 主格　**病気になる**-主語: 3人称. 単数. 女性-不定-**与格-場所格**-長母音化=述部マーカー
「彼女はほとんど病気にかかりつつある。」

3.2　なぜシダーマ語に人魚構文が存在するか？

私の仮説：・(i) *gara* 構文と (ii) =*gede* 構文　＜　外的所有者構文
・(iii) 与格-場所格構文　＜　分裂構文

3.3　シダーマ語に人魚構文が存在するということからわかること

- 人魚構文を持つ言語が多くはないのは事実かもしれないが、人魚構文はアジアだけに存在するというわけではない。
- 言語が少数の人魚構文を持つ場合、その構文で使われる名詞は話し手の伝達内容についての確信の度合いに関わるものであることが多い。（Tasaku Tsunoda ms. の発見）
- 人魚構文がある言語は、主題化をする文法的な手段がある傾向、および外の関係の関係節の使用が可能である傾向があるかもしれないが、人魚構文がある言語に必ずこれらの文法現象がなければならないというわけではない。
- シダーマ語で（あるいは言語によって？）人魚構文を使う動機が日本語とは違うかもしれない。
- シダーマ語に人魚構文が存在するのが偶然かどうかは、周辺の言語を調査することによってある程度わかる。

４．まとめ

- アフリカの言語の研究による、言語類型論への貢献、および言語類型論的な日本語の研究への貢献